

「21 世紀型スキルとグローバル教育研修プログラム」(オンライン講義) ご案内

2020 年度 受講者ご案内

拝啓、初夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃はいろいろとご支援にあずかり、厚く御礼申し上げます。

この度、大阪教育大学大学院連合教職実践研究科と大阪市教育センター・府立高校教職コンソーシアム・堺市教育委員会が連携・協力し、NPO 法人 (Teach For Japan) との協働を得て開発した「21 世紀型スキルを育てるグローバル教育研修プログラム」の研修を開催することとなりました。コロナ禍においても、未来へと飛躍する児童・生徒を育てる教育現場において、問題解決をする授業づくりや、教員どうしの対話を大切に組織を構築する工夫を学ぶ機会となります。ぜひ、小学校、中学校、高等学校等の皆さまにご参加いただきたく、ご案内申し上げます。つきましては、教員への周知をよろしく願います。(2020 年 7 月 10 日)

敬具

記

主催 大阪教育大学連合教職大学院

連携・協力 大阪市教育センター・堺市教育委員会・府立高校教職コンソーシアム

日時 8 月～11 月の合計 5 回 (8 月 23 日 (日)、8 月 29 日 (土)、9 月 19 日 (土)、10 月 17 日 (土)、11 月 3 日 (火) 各 15 時～)

場所 ZOOM によるオンライン講義

締切 令和 2 年 7 月 30 日 (木) 17 時必着
*QR コード (ウェブサイト) により申し込んでください。
<https://forms.gle/mNxUV2iGGBhos7N59>



定員 小学校、中学校、高等学校の教員 5 名 *定員を超えた場合は、抽選とさせていただきます。
(大阪市 5 名、府立高校教職コンソーシアム 5 名、堺市 2 名、附属学校・大学院等 4 名、計 16 名)

問合せ 担当 大阪教育大学・連合教職大学院・スクールリーダーシップコース
グローバルスクールプログラム担当 柏木賀津子 田中満公子
電子メール kashiwag@cc.osaka-kyoiku.ac.jp



プログラム内容

オリエンテーション、および、第1回から第4回までは、2コマ講義である。

原則、オンライン（ZOOMによる対面講義）で行うため、自宅等よりパソコンで参加する。

回数	実施時期	時間帯	内容	備考
オリエンテーション	8月23日（日）	15:00-16:30	オンライン ZOOMサインアップ 使用PC状況等の確認 研修の目的等説明 21世紀型スキル（アンケート・ポートフォリオシート）	柏木・田中 （連携自治体）
第1回	8月29日（土）	15:00-16:30	「グローバル時代に必要なEdTech・ネットワーク創り」	田中・TFJ（注①）
		16:40-18:10	ZOOMパネルディスカッション （TFJ中原健聡氏とプログラム受講者）	
第2回	9月19日（土）	15:00-16:30	「教科横断で育てる21世紀型スキルーCLILの実践演習」	柏木・ゲスト講師
		16:40-18:10	「授業において英語でメッセージを生徒に伝えるには」 「思考力・判断力・表現力を育てるオンライン教材の開発」	
第3回	10月17日（土）	15:00-16:30	「教科横断で育てる21世紀型スキルーCLIL・STEAMの実際」	柏木・ゲスト講師
		16:40-18:10	「高校SGHにおける、チームビルディング・ワークショップ」	田中・ゲスト講師
第4回	11月3日（火） 祝日	15:00-16:30	「課題解決能力を育むIBプログラムの運営と実際」	田中・柏木 国際バカロレア校 連携
		16:40-18:10	「21世紀のチェンジメーカーとしてジレンマに立ち向かう」	田中・TFJ
		18:10-18:30	リフレクション まとめ	柏木・田中 （連携自治体）

*注① TFJ：認定NPO法人Teach for Japan（ティーチ フォー ジャパン） 代表理事 中原健聡

1) 原則、各自自宅等からPC、またはタブレットを活用し、ZOOM等オンライン対面講義で行う予定である。

2) 上記の他に以下のような教職大学院の講義について内容・日程を案内し、希望者は見学できる（大阪教育大学天王寺キャンパスにおいて平日、火曜日18時～19時半、期間は10月～12月）。*別途講義を通じて案内する。*原則、ZOOMで行う予定である。

3) 21世紀型スキルに向けて教育改善を行う諸外国より教員を招聘し、本プログラムとは別にワークショップやディスカッションを行うことがある（大阪教育大学天王寺キャンパスにおいて、土曜または日曜日 期間は10月～12月）。*受講者にメールを通じて案内を行う *原則、ZOOMで行う予定である。

4) ゲスト講師は、TFJ・国際バカロレア校・ネイティブ講師の協力を得ることがある。英語で行う部分については担当者が要旨を解説する *原則、ZOOM上で行う予定である。

（注）研修は、ご自分のパソコン、またはタブレットを使用し、Wifi に接続して自宅等から受講ください。新型コロナウイルス感染症予防については状況に拠って、大阪教育大学天王寺キャンパスで開催することがあります。英語をもちいる内容では、主催者が適宜日本語でサポートをします。

（注）CLIL（内容言語型学習）は、汎用能力を培う思考・対話型の学習で、理科や環境などの教科内容と外国語（英語等）の両方を学ぶ。2020年度、文部科学省検定教科書にもその視点が一部取り入れられました。

(注) STEAM「STEAM」とは、サイエンス(Science)、テクノロジー(Technology)、エンジニアリング(Engineering)、アート(Art)、マセマティクス(Mathematics)の頭文字で、理数の基礎、創造的な力を活用して問題解決を図る学習です。

それぞれ以下の教員2名が、講義とコーディネーションを行います。内容により、本学科学センターの教員、NPO 法人の講師等と、コラボレーションします。英語を使う場合には適宜解説をしながら進めますので、どの学校種、どの分野の教員もご参加ください。

開催者プロフィール

柏木賀津子：大阪教育大学連合教職大学院・教授



京都大学博士(人間環境学・外国語教育) SLA(第2言語習得)、CLIL(内容言語統合型学習)を専門とし、講演やワークショップをとおして、深く考え学び合う教科横断の授業の実践研究を行っている。小学校教員19年、指導主事2年の経験をとおして小中連携の英語教育にも取り組む。小学校教員に向けた中学校英語2種免許法認定講習「中等英語科教育法」「英語コミュニケーション」、教員免許更新講習では「教育の最新事情」等を担当している。フィンランド海外教育実習を行い現職教員や大学院生らと共に、フィンランドの学校で理数・SDGsのCLIL授業訪問を行ってきた(2012年-2019年)。フィンランド国ユバスキュラ大学応用言語研究所の招聘研究員として21世紀型スキル、PISA型学力、現象ベースの学習、参画型校長研修について研究を行い、現在はフィンランドの大学連携で国際共同研究を推進している。開隆堂小学校外国語科教科書「ジュニア・サンシャイン」副編集(2019年)。小学校英語教育学会常任理事 日本CLIL教育学会副会長

【著書】

柏木賀津子「第3章 英語教育と文理解」『英語教育と言語研究』朝倉書店 2018年

柏木賀津子・伊藤由紀子『小・中学校で取り組むはじめてのCLIL英語授業づくり』大修館 2020年

田中満公子 大阪教育大学連合教職大学院・特任教授 附属天王寺中学校校長 附属高等学校天王寺校舎主任



校長としての学校経営に長年取り組み、大阪府立三国丘高等学校では、文部科学省事業「スーパーグローバルハイスクール(以下、SGH)」指定の申請をし(2014)、1期の指定を受け、SGH校長アドバイザー、SGH講師として、「高校生ビジネスコンテスト」のグランプリ受賞などSGH活動を支援した(2015~2018)。本学においては、「学校経営と学級経営の理論と実践」「グローバル時代の教師」などの授業を担当している。実務家教員として学校現場での経験を活かして、「KSG100」(学部卒生の教員採用試験対策講座)や、小学校、中学校、高校の管理職経験のある本大学院の教員による「学校実践知(経験知)教材化プロジェクト」、大阪府、大阪市、堺市教育委員と連携した「教員養成共同コミュニティ」、TOC理論(制約条件の理論)に基づく企業研修プログラムを学校に応用した「一般の教員の研修のあり方に関する調査研究」(2019 文部科学省「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」)などの一員として、理論と実践を往還し教育実践を展開している。最新のグローバル教育に関して、岡山理科大学や大阪水都国際中学校高校、教育NPO Teach for Japan、府立高校教職コンソーシアムとの連携により、多文化だからこそ学力がのびる学校改革プログラムを開発している。NPO法人 Teach for Japan 理事

【著書】

田中満公子「はじめて教師になったあなたへー子どもたちと心の絆を結ぶ7つの原則ー」南の風社 2012

田中満公子「グローバル教育における生徒の変容ースーパーグローバルハイスクール指定校の実践を通してー」『学校教育論集 2015 学校マネジメントの実践的研究ー理論知と実践知の対話』大阪教育大学・学校マネジメント研究会 2016